

令和4年度京都府自殺対策推進協議会

1 日時・場所

令和5年2月20日(月) 15後30分～17時
京都ガーデンパレス「鞍馬の間」(2階)

2 出席者

(1) 委員 (24名中17名)

○会場(7名)

石垣委員、大平委員、河瀬委員、小林委員、日下田委員、平田委員、本郷委員

○ オンライン (10名)

浅井委員、尾角委員、長田委員、黒川委員、武田委員、波床委員、原委員、廣谷委員、岸委員、三木委員

(2) 京都府

柴田健康福祉部副部長、杉本地域福祉推進課長、尾崎地域福祉推進課参事ほか

3 議事等

(1) 京都府の自殺の現状について

○ 事務局から資料1に基づき説明

(2) 京都府自殺対策推進計画(第2次)に基づく施策の実施状況について

○ 事務局から資料2(1)～(4)に基づき説明

(3) 自殺総合対策大綱(令和4年10月改定)の概要について

○ 事務局から資料3に基づき説明

(4) 今後の取組について

○ 事務局から資料4に基づき説明

(5) 質疑・主な意見

○ ゲートキーパー養成研修受講後の活動の場はどこか。

○ 若者の自殺対策が重点事項であるが自殺者数は増えている。大学生、大学卒業後2年～3年の年代への対策が必要ではないか。

○ 自死対策カレッジ会議の取組状況はどうか。

○ 予防教育の「いのちとこころのコミュニケーション事業」(出前授業)について、学校からの申請件数が半減している理由をどう分析しているか。

○ (自殺未遂者支援について、活動団体の立場から)自殺未遂者を限定しての活動ではないが、一緒に食事をしたり、映画を観たりする事業を定期的で開催するなど居場所を提供している。「そこに行けば誰かと会える」という気持ちになってもらうことで効果があると思っている。

○ 自殺未遂者支援の事業効果について、関係団体の意見を確認し、施策に反映してほしい。

○ ライン相談の相談内訳、今後の対応についてはどう考えるか。

○ 相談事業での頻回利用者への対応は、難しいところ。SNS相談については、今後、国と各自自治体の役割を検討していく必要があるのではないか。